



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.049
a taste of Yassy

田中 康夫



Yassy

たなかやすお ●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。[公式ブログ] www.nippon-dream.com/

「羊の皮を被った狼だ」と一昨年から僕が警鐘を鳴らしてきたTPPは、Total Poison Program(完全毒薬計画)の略号です。

だから、中韓台、インドネシア、タイ、フィリピンの何れも参加表明しないのです。なのに、TPPでアジアの経済成長を日本に取り込むと大言社説する首相や外相って一体、何なんでしょう。MRIで頭脳を精密検査すべきかも。

狼は、早くも牙を剥き出しました。GM・フォード・クライスラーのビッグスリーで構成する米国

米国の要求に応じて軽自動車の規格を廃止するのは、「開国」ならぬ「壞國」の所業

今週の逸品



たまな定食とおさけのセット 2500円

たまな食堂の名称は、大地から「育った菜つ葉」。循環の環。キャベツの古名「玉菜」の諺語として誕生。牛丼の定食は900円~。晩餐は一品料理も豊富。魚料理やイタリアンの有機乾鶏を用いた料理も。晩餐定食は日にゆったりと卓を配置。予約が望ましい。

[たまな食堂] 東京都港区南青山3-8-27 ☎03-5775-3673 毎11:30~15:30、18:00~22:30 不定休 禁煙 要予約 <http://nfs.tamana-shokudo.jp/>

Illustration by Hajime Anzai



日本独自の軽自動車規格も廃止すべきと要求。詰まり、米国車が日本で売れないのは「非関税障壁」だと妄信しているのです。

では、独英仏伊の車が日本で受け入れられているのは何故でしょうか。供給側の都合? プロダクト・アウト、消費側の希望? コンシューマー・イン、何れに立脚しているかの違いです。努力すべきはビッグスリーの側。万が一にも、日

自動車貿易政策評議会(AAPC)は米国通商代表部(USTR)に対し、日本の自動車市場は閉鎖的で、日本独自の軽自動車規格も廃止すべきと要求。詰まり、米国車が日本で売れないのは「非関税障壁」だと妄信しているのです。

本「ヘタレ」政府が軽自動車の生産禁止をスズキやダイハツに命じ、町屋文化の象徴たる路地拡張に突っ走るなら、それこそ「開国」ならぬ「壞國」です。

逆に日本は、燃費の悪い大型乗用車製造禁止&軽自動車優遇条項を米国に求めるべき。世界標準!! グローバルスタンダードの提唱国が自國で温存し続けるヤード・ボンド法こそ、二枚舌「非関税障壁」の欺瞞ではありませんか。

この晚餐は、季節野菜と発酵食品を用いた日替わり定食。玄米菜食を謹いながら、艶を感じさせます。野菜、乾物、調味料等の有機食材を取り揃えた売り場も併設された南青山の静謐な「活力源」です。

占有率9割に達する米国モンサント社と長期協力関係を結ぶ住友化学で会長を務める日本経団連の米倉弘昌さんと野田佳彦さん貴方が手を握り合って進めるTPPに、多くの国民は疑問と不安を抱いています。昨年11月の予算委員会で諫言した内容です。

そのモンサント社を全米で30万人の農業者が集団提訴し、近くニューヨークの連邦地方裁判所で口頭弁論に立ちます。日本モンサント社HPには、大本営発表を垂れ流した戦前戦中の「大政翼賛」新聞かと見紛う「詭弁」が掲載されるでしょう。

独立行政法人都市再生機構(U.R.)が「地上げ」を手掛けるも頓挫状態が続く南青山の路地裏の「たまな食堂」は、体軀を綺麗にする御馳走を老若男女に提供する。時空。シェーカー教徒の家具は、ミニマリストが往々にして陥る「無味乾燥」と異なり、在るべき生活の姿を我々に、穏やかに啓示しています。千駄ヶ谷のタスマードが登場の連載45回でも言及した、その感触と、たまな食堂に流れる空気は似ています。

「たまな定食とおさけのセット」の晚餐は、季節野菜と発酵食品を用いた日替わり定食。玄米菜食を謹いながら、艶を感じさせます。野菜、乾物、調味料等の有機食材を取り揃えた売り場も併設された南青山の静謐な「活力源」です。